

ニュースレター 10月

2026. 10. 1発行



今月は、トイレの「大」「小」、使い分けてる？ 水量の違いや“正しい”使い方についてお届けします。



トイレの洗浄レバーやボタンは多くの場合「大」と「小」の2種類に分かれています。皆さんはどんなふうに使分けをしていますか？
トイレの洗浄レバーの使い分け方法についてメーカーに聞いてみました。

HPのお問合せはこちらから

1、トイレの「大」と「小」の使い分けをしていますか？



トイレの洗浄レバーやボタンは多くの場合「大」と「小」の2種類に分かれています。皆さんはどんなふうに使分けをしていますか？

実は便器の機種によって使い分け方法が異なり、上手に使えば節約しながらエコに暮らせませす。

今回は、トイレの「大」と「小」の使い分け方法について、水まわり住宅総合機器メーカーに聞いてみました。

2、トイレの「大」と「小」は大便・小便を意味する



メーカーによると、トイレの洗浄レバーやボタンの「大」は大使用洗浄、「小」は小使用洗浄の意味で、「大」のほうが流す水量が多くなっています。つまり**大便をしたら「大」で流す、小便をしたら「小」で流す**のが基本です。

これは大便を「小」で流してしまうと、大便やトイレトペーパーが多い場合に便器内で詰まったり、その先の排水管内で停滞したりなど、トラブルの原因となってしまうことがあるためです。

また注意したいのが、古い便器の中には「小」ではトイレトペーパーが流せないタイプがあること。機種によっては、「小」はペーパーを使わない男性の小便だけを対象としているものがあり、その場合「小」ではペーパーは流れません。

見分け方は、「小」レバーをひねった時の動き方にあります。レバーをひねっている間だけ水が流れる便器を「ホールドタイプ」と呼び、これはペーパーが流せないのだそう。確かに、指でレバーを押さえ続けていないと、水がほとんど流れない便器がありますよね。このタイプの場合は、大便・小便にかかわらず、ペーパーを使ったら「大」で流す必要があります。

逆にひねった時に水が一気にザーッと流れてレバーが軽くなる便器を「ノンホールドタイプ」と呼び、こちらは「小」でもペーパーが流せるのだそうです。一度自宅の便器のレバーをひねって確認してみるのが良さそうですね。



最近の便器はノンホールドタイプが主流になっていて、左の画像のようなリモコンで制御する新しい便器も「小」でペーパーが流せます。またもうひとつ横にある「eco小」ボタンは、男性の小便やお手入れなどペーパーを使用しない時に使うようになっているそうです。

ちなみに築年数が古いマンションなどで流しきれない不安がある、自治体によって水量の最低規制があるなどの場合は、洗浄水量の設定を増やすこともできます。変更方法は機種によって異なりますので、取扱説明書を確認しましょう。

最近多いリモコンで制御するタイプの便器はノンホールドタイプが主流

3、なぜトイレは「大」と「小」に分かれている？



今でも数多く使われている20～30年前の便器

「大」で流すたびに13リットルが必要です。

その前は20リットル必要だった時代も

それにしてもなぜ、トイレの洗浄レバーは「大」と「小」に分かれているのでしょうか。

トイレは実にたくさんの水を使用します。日本は比較的水が豊富な国ではありますが、水を使う際には浄水場や下水処理場で電力を使い、マンションやビルならポンプでくみ上げる必要があるなど、たくさんのエネルギーが使われています。

特に古い便器はタンクの水の勢いで流していたため、「大」で約20リットルの水が必要でした。1日に3～4回ずつトイレに行くとなると、4人家族ならその量はなんと約280リットル！これは一般的な浴槽一杯分の水量よりも多くなります。

このトイレで流す水を節約できれば、家計の節約になるのはもちろん、社会の省エネにも繋がるというわけですね。

その後、節水技術が進み、20～30年程前には「大」で13リットルが主流となりました。そして現在はおおよそ5リットル以下となっています。「小」なら更に少ない水量で流せます

世界各国にはトイレの洗浄水量に関して厳しい規制があります。例えばアメリカやカナダ、EUでは6リットル以下、中国は5リットル以下、シンガポールでは4リットル以下となっています(※)。トイレで流す水について考えることは、地球環境を守るために大切なことなのです。

4、わが家のトイレの「大」と「小」の洗浄水量を知る大切さ



トイレの「小」レバーは、節水のために1958年に生まれました。

「大」と「小」でどれくらい流す水量に差があるかというと、1994年発売の便器NEWCSシリーズの場合、「大」は10リットル、「小」は8リットル、その差は2リットルです。トイレの使用頻度を考えると、「大」と「小」を上手に使分ければかなりの節水になることが分かります。

自動洗浄機能が付いている場合は**着座時間で大・小を判断**し、30秒以上の着座で「大」、30秒未満は「小」で流れるそうです。つまり小便だけでも、のんびり座っていたら立ち上がると「大」で流れるということ。そんな時は立つ前に手元のリモコンで「小」を押せばOK。

わが家の便器の「大」と「小」それぞれの洗浄水量を知っておけば、「小」では物足りないからと追い流しをするより、「大」で1回流す方が水量が少なくて済むなど、より効率的な節水方法が分かります。

水量は品番をチェックして調べてみるといいでしょう。具体的にどれくらい節水できるかが分かれば、やる気も出ますよね

トイレの「大」と「小」を上手に使分け、わが家にあった節水方法で節約をしながらエコに暮らしましょう。

土木建築
リフォーム

株式会社 渡辺組

本社

海津市海津町高須町720-1

0584-53-0174

E-mail: info@watanabegumi-kaizu.com

URL http://www.watanabegumi-kaizu.com/

*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご連絡なくお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。